

医療の役割再認識

看護の日
イベント

「目標を明確にし前進」

八学大看護学科宣誓式

八戸学院大(法官新一
学長)健康医療学部看護
学科は「看護の日」の12
日、同大の学生会館で宣
誓式を行った。1年間の
基礎教育を終え、より専
門性の高い技術の習得を
目指す2年生63人が、看
護の道を歩み続ける決意
を新たに、それぞれの理
想の看護職像を胸に刻み
込んだ。

同学科は、系列の八戸
学院短期大(現八戸学院
大短期大学部)から移設
する形で2016年度に
開設した。

式典では、宣誓者一人
一人が教員からともしび
を受け取り、全員で「宣
誓の詞」を斉唱。法官学
長が「医療の進歩に役立
つ研究心を身に付けてほ
しい」と式辞を述べ、3
年の上村陽花さん(20)が
実習経験を踏まえて「実
習では講義や演習とは違
った学びがある。将来の
目標を明確にし、前に進
み続けましょう」とエー
ルを送った。

宣誓者代表の吉田澄玲
さん(19)は「支えてくれ
る人への感謝の気持ち
を忘れず、仲間と切磋琢磨
し、質の高い看護を目指
したい」と誓った。

式典後、北海道医療大
と長野県看護大の名誉教
授を務める阿保順子さん
が「看護技術と身体」と
題して記念講演を行っ
た。



教員からともしびを受け取り看護の道への決意を胸に刻む学生ら

(三浦千尋)